学報 NITTAIDAI 74
2023.AUTUMN

# 夢が羽ばたく、舞う

体操競技界をリードする日体大のエースたち。
仲間と高め合い、技を磨く。
夢へひたむきに、世界へ向けてさらなる飛躍をめざす。

学報 NITTAIDAI 74号 2023. AUTUMN

# 学報 NITTAIDAI

74

## 変えていくこと 変わらぬこと

▷「スポーツが好き」を軸に、日体大を志す人々や社会の期待に応えて、本学は学部学科のすそ野を広げてきた。その一つ、スポーツマネジメント学部は2024年度、新たなステージに一歩を踏み出す。ビジネスや地域社会のスポーツへの関心はいっそう高まり、より多様な人材を受け入れて、さらなる進化をめざす。

▷体育研究発表実演会の開催が迫り、花形演目である「エッサッサ」と「集団行動」の練習は佳境に入っている頃だろう。半世紀以上にわたり、代々受け継がれてきた他に類を見ない日体大の財産である。そこには日体大の精神が凝縮されており、すべての新しい取り組みも日体大の伝統の蓄積が土台にあることを忘れてはならない。

▷体操競技部の女性アスリートの対談からは、変わらぬ日体大の強みとともに、時代に応じた新たな価値観を感じた。性別・障がい・国籍などの違いのすべてを包容し、多様性が重んじられる時代を、日体大がリードしていかなければならない。

学報NITTAIDAI（ニッタイダイ）74号
発行日●2023年11月2日
発行●日本体育大学広報課
TEL 03-5706-0948
FAX 03-5706-0922
https://www.nittai.ac.jp/
制作協力●（株）図書出版

## Special Contents

03 スポーツの感動、喜びを創造する
**スポーツマネジメント学部**
2024年度、入学定員変更および入試制度を改定
スポーツマネジメント学部 学部長 齊藤 隆志 教授

05 対談 **世界で活躍する日体大アスリート**
高め合える仲間と共に 世界を舞台に輝き舞う
体操競技部 坂口 彩夏 体育学部3年
体操競技部 芦川 うらら 体育学部2年

09 日体大生なら知っておきたい伝統・精神
～「エッサッサ」「集団行動」とは？～
**「エッサッサ」**
月明かりに月に向かって咆える獅子
学生寮 寮監長 スポーツ文化学部 武道教育学科 古澤 伸晃 准教授
深沢寮 寮委員長 関軒 楽生

11 **「集団行動」**
日体大スピリットを凝縮したパフォーマンス
監督 日本体育大学 大海 二朗
体育学部 健康学科4年 伊澤 桜

13 **活躍するOB・OG**
選手、学生コーチ、グラウンドマネージャーを通じて培った貴重な経験
今後も多くを学び、周囲の人たちに良い影響を与えていきたい
橋浦 雅裕 氏 明法中学・高等学校 教諭

大学時代の苦労や喜び、経験や実習の中で育まれた幼稚園教諭への情熱
外遊びを通じて、子供たちの身体能力を伸ばしていきたい
上野 美帆 氏 日体幼稚園 教諭

17 **日体勢がアジアの舞台で活躍**
**FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）**
**第19回アジア競技大会（2022/杭州）**

18 **学生支援センター 生活支援部門から学生の皆さんへ**
違法薬物・交通ルールについて
シャトルバス有料化

19 *news & topics*
・令和5年度 日本体育大学「第60回体育研究発表実演会」
・日本体育大学クリニックのご案内

日体大を極める Episode 11

# 日体大と女子体操

日体大の花形競技のひとつである体操競技において、多くの女性アスリートが活躍している。国内外の体操競技大会で、メダリスト・入賞者を輩出してきた。

日体大の体操女子を語るうえで欠かすことのできない人物がいる。池田（旧姓・田中）敬子氏である。2023年5月、惜しくも逝去された。

1954年の世界選手権（ローマ）の種目別平均台では、五輪・世界選手権を通じて日本の女子体操選手として初めて金メダルを獲得した。1964年の東京五輪では団体銅メダル獲得に貢献する。五輪は東京大会のほか、メルボルン大会（1956年）、ローマ大会（1960年）に出場した。世界選手権では個人総合、団体を含め計８個のメダルを獲得、全日本選手権では10度優勝している。2002年に日本女子として初めて国際体操殿堂入りした。

池田氏は日体大の教授、副学長を務められ、名誉教授となったが、学生として在学されたのは、1953～1956年である。まさに日体大の女子学生の草分けであった。卒業後も教員、指導者として後進の育成に携わりながら、選手活動を継続する。58年に結婚するとさらに家事が加わり、次男の出産は東京五輪の前年だったという。当時は今のように女性、子育てのサポートも整っていなかっただろう。そのような環境のもとで主力選手として活躍を続けたことは驚きを禁じ得ない。

近年でも、顕著な記録が出るたびにメディアで池田氏の名前を目にする。村上茉愛氏（体育学部2019年卒）は2017年世界選手権の床で金メダルを獲得したが、五輪、世界選手権を通じての女子の金メダリストは池田氏以来63年振りであった。また、2021年世界選手権では当時高校生の芦川うらら（現・体育学部2年）が村上氏に続いて金メダルを獲得したが、平均台での金メダルは池田氏以来であった。レジェンドの偉業を、日体大の後輩たちが継承してきたのである。

もちろん体操競技に限らず、パラスポーツも含めて、日体大の女性アスリートの活躍が目覚ましい。さまざまな分野で女性の活躍がいっそう期待される中で、新たなロールモデルの誕生が楽しみだ。

後輩の頼もしい姿を見て、遥か彼方で、先生も目を細めているに違いない。

池田敬子氏
（2017年3月　名誉博士称号授与時の写真）

村上茉愛氏と芦川うらら選手

# スポーツの感動、喜びを創造する スポーツマネジメント学部

**～2024年度、入学定員変更および入試制度が改定されました～**

**2018年に誕生したスポーツマネジメント学部。スポーツをみる、する、ささえるといったスポーツのすそ野の広がりに応じて、受験生や社会の関心がいっそう高まってきました。**
**入学定員変更（増）※の申請が認められ、これにともない入試制度を改定し、2024年度より新たなステージに進化します。**

※スポーツマネジメント学科の入学定員が145名から245名へ変更されました。

## Q：スポーツマネジメント学部とは？

最新のマネジメントに関する理論や多岐にわたるスポーツ実技を学ぶとともに、スポーツビジネスに関する実習を通じて、現場で必要とされるスキルや知識を習得。スポーツの価値を有効に活用することで、個人や組織、社会の課題解決を図り、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を担う人材を養成します。

## Q：スポーツマネジメント学科とスポーツライフマネジメント学科は何が違うの？

| | スポーツマネジメント学科 | スポーツライフマネジメント学科 |
|---|---|---|
| 何を学ぶか | スポーツビジネスに近い領域について学ぶ | 人々のライフ（健康・生活）により関わりを持つ領域について学ぶ |
| 何を目指すか | スポーツビジネスパーソン、スポーツ組織のマネジメント人材 | スポーツ･レクリエーション、アウトドアスポーツ、まちづくりのマネジメントができる人材、各ライフステージに応じた健康マネジメントができる人材 |

**定員変更と入試変更点**

スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科は、2024年度入学定員変更の申請が認められました。
**スポーツマネジメント学科 入学定員変更　変更前：145 名 → 変更後：245 名**
**スポーツマネジメント推薦、一般推薦を新規に実施します。**

| 学部 | 学科・コース | 入学定員 | 総合型選抜 | | | 学校推薦型選抜（新規実施） | | | | 一般選抜 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | トップアスリート型 10月 | 課題探究型 | プレゼンテーション型 | スポーツ推薦 | 指定校推薦 | スポーツマネジメント推薦 | 一般推薦 | A日程 | B日程 | C日程 | 大学入学共通テスト利用型 |
| スポーツマネジメント学部 | スポーツマネジメント学科 | 245 | 7 | 68 | 18 | 122 | | | | 30 | | | |
| | スポーツライフマネジメント学科 | 110 | 若干名 | 27 | 10 | 55 | | | | 18 | | | |

# スポーツの新しい価値を創造できる人材を養成

スポーツマネジメント学部
学部長 **齊藤 隆志** 教授

スポーツマネジメント学部は、時代の期待に応えたスポーツの価値・使命を追求し続けてきました。スポーツマネジメント人材へのニーズの高まりを受けて、２０２４年度より、教育内容のさらなる充実に向けた施策が始動します。スポーツマネジメント学部・学部長の齊藤隆志教授に、学部のねらい、強み、今後の展開や抱負について話を聞きました。活気あふれるスポーツマネジメント学部の学びや活動にますます期待が集まっています。

**―開設６年目を迎えていますが、この間を振り返っていかがでしょうか？**

ラグビーW杯や東京五輪などのイベント開催を通じて、スポーツのすばらしさや社会にとっての大切なことなど本当の価値の大切さを誰もが実感したと思います。さらにコロナ禍で各人が自分自身の生きる意味や健康についても改めて考えるようになりました。このように社会においてスポーツの価値が再認識されることで、スポーツマネジメントは単なる利益追求のビジネスではなく、スポーツの本当の価値を尊重することが大切であり、学生にはその重要性を教えるべきだと感じるようになりました。

**―学部の特徴、日体大ならではの強みはなんでしょう？**

スポーツの本当の価値を創造できるスポーツマネジメント人材養成を強く意識したカリキュラムになっていることです。体育・スポーツが好きだから仕事にし、スポーツのすばらしさを社会に提供するビジネスができる人材を養成している点です。

**―特に注目してほしい授業や活動をご紹介ください。**

令和７年度から両学科に開講予定の「スポーツマネジメント現場演習、実習」です。スポーツマネジメントのビジネスモデル、仕事や企業等を演習において入念に調べ、マネジメント現場実習で体験することで、ビジネスキャリアを深く学習できます。

**―学部の雰囲気、学生の傾向や特徴を教えてください。**

学生は１年次というより入試時から将来へのキャリアを考えています。したがって自分自身のキャリア面での「成長」を強く意識した学生が多いと感じます。また、講義を聞くだけの受け身よりも、企画立案といった創造的な学びに積極的だと思います。

**―学部で学ぶ魅力（将来の可能性や身に付く力など）はなんでしょう？**

企画立案、組織経営、マーケティング、法律などのマネジメントに関する様々な知識を理論と実践の両面から学ぶことができ、卒業時には即戦力として活躍できます。

**―入学定員増や入試制度改定のねらいや背景を教えてください。**

スポーツに限らず様々な職種においてスポーツマネジメント人材が必要とされています。このような社会要請に応じて入学定員を増やしました。さらに入試制度と関連させるならば、両学科ともに高校までのスポーツマネジメント経験と関心を考慮しています。例えば「スポーツマネジメント推薦」という入試制度を取り入れ、高校時代の運動部や地域クラブにおけるマネジメント経験者を対象としています。

**―求める学生像、入学者に期待することはなんでしょう？**

スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについて関心があり、知的好奇心の旺盛な人です。

**―学部の今後の抱負をお願いします。**

産学連携や地域連携をより強化することで企業や地域社会の要請に応えるとともに学生のビジネス現場での実践的学習をより充実させ、科学・情報技術や新しい社会に適応したスポーツの新しい価値を創造できるスポーツマネジメント人材を養成します。

## （ 将 来 の 活 躍 の フ ィ ー ル ド ）

### スポーツマネジメント学科

スポーツスクール、スポーツクラブ、スポーツイベント、スポーツ用品ビジネス、スポーツメディア、スポーツツーリズム、プロスポーツ団体・クラブ、スタジアム・アリーナ等の各領域で専門性を活かしてマネジメント業務に携わります。

### スポーツライフマネジメント学科

スポーツライフに関わる多彩な学びと数多くの資格取得が可能で、学校・クラブ・地域等でスポーツや健康管理の啓発に貢献します。

- 地方自治体や健康関係団体でマネジメント
- 高齢者や子どものスポーツ指導
- 運動・栄養に関するプログラム指導や測定

# 世界を舞台に輝き舞う

**芦川 うらら**
（あしかわ・うらら）体育学部２年
体操競技部

## 体操競技とともに歩んできた日々と競技の魅力

2024年のパリオリンピックに向けて、日々ひたむきに努力を続ける体操競技部所属の坂口彩夏選手と芦川うらら選手。大学入学前から同じ競技で仲間として切磋琢磨し合ってきたお二人ですが、先輩後輩という立場になった今でもお互いに「安心できる存在」だそう。それぞれ性格や挫折との向き合い方は違いますが、支えてくれる周囲の人たちへの感謝の気持ちや謙虚さは共通しています。まさに世界に飛び立とうとする二人に、現在に至るまでの心境と今思うこと、そして今後の夢を語ってもらいました。

### 世界選手権についての感想と、これまでに印象的だった試合や転機となった試合についてお聞かせください。

芦川　世界選手権は、今年が初めての団体戦出場で緊張もありましたが、自分の役目をしっかりと果たせたことで、パリオリンピックへの出場権獲得にも貢献できたので本当に嬉しかったです。

坂口　私は昨年選手として出場しましたが、全員が初めての世界選手権だったので結果などは気にせずに自分たちができることをやろう、という思いで挑みました。実際に自分たちの演技をしっかりとのびのびできたことで決勝に行くこともできたし、そこで日本選手団の課題も見つかったので、とても良い経験になりました。

芦川　人生を変えた試合といえば、高校2年生のときのワールドカップ・ドイツ大会です。初めて平均台で優勝し、続いてW杯3大会優勝でオリンピックの切符を手にしました。そこから国際大会での自信が自分の中ですごく大きくなりました。東京オリンピックでは、初めてバイルズ選手など海外の強い選手と一緒に試合をして、それまでにないくらいの緊張感もありましたが、急遽回ってきた決勝出場でもミスなく自分の演技を通し切れたことが自分にとって大きいものだったと思います。

坂口　ワールドカップ・ドーハ大会で、高校1年生のときに跳馬だけ出場しました。予選落ちしてしまい、その後は帰るまで長時間練習会場で見学になるのですが、他の選手の平均台演技を見ていました。その間ずっと「なんで海外の選手はこんなに落ちないんだろう?」と考えていたのです。そこでスイッチが切り替わり自分も平均台からあまり落ちな

# 高め合える仲間と共に

**坂口 彩夏**
（さかぐち・あやか）体育学部３年
体操競技部

## 体操競技を始めたきっかけと体操競技の魅力について教えてください。

芦川　姉たちの影響で1歳くらいから体操競技をやっていますが、物心ついた頃はあまり体操競技が好きじゃありませんでした。今ではもちろん好きです。普通の人だったらできないことを軽々とやれることが魅力だと思います。

坂口　私は5歳くらいから始めましたが、動くことが好きな子供だったので何かしら習い事をということで、市内にあった体操教室に通い始めました。やっぱり普通の人ではできないことをやっているし、「体操」という言葉からは一般的には基本的な準備運動みたいなイメージがあるのに、実際は全然そうではなくアクロバティックで複雑で奥深く、そこが面白さだと思います。

## これまでにスランプや挫折はありましたか？どのように乗り越えたのでしょう。

芦川　2回ありました。中学2年生の韓国合宿で普段はしないロンダートから宙返り連続を練習したら、バック転が浮いてしまい頭から落ちてしまったのです。技が全部怖くなり、何もできなくなって、体操競技もやりたくないという状況になりました。2回目のスランプは、試合シーズンが終わり冬場の練習になったときにモチベーションが上がらなくなり、また技が怖くなってしまって。そのときも本気で辞めたいと思ったのですが、先生たちと相談したり他のみんなの練習を見たりしているうちに、体操競技自体が嫌いなわけじゃないんだということに気づき、先生の親身なサポートもあって復活できました。

坂口　高校1年生くらいのときでしょうか、段違い平行棒で手が離せなくなったことが一度ありました。ひたすら怖くて泣いたほどです。競技からいったん距離をとったことと、私も先生のサポートがあって、徐々に以前の状況に戻っていきました。

# 芦川 うらら

体育学部２年
体操競技部

（あしかわ・うらら）【主な戦績】
2020年　W杯　メルボルン／バクー　平均台1位
2021年　東京五輪　平均台6位
2021年　世界体操　平均台1位
2023年　世界体操　平均台5位

自分の性格をひとことで：努力家
オフの過ごし方：友達とご飯／買い物／1人で過ごす日もある
試合前＆後のルーティン：美味しいものを食べる／海外試合の前はお寿司！／音楽を聴いて気分を上げる
尊敬する選手と理由：サライバ選手／綺麗で迫力のある体操をするから。人柄もすごく良い。
好きなことば：謙虚

## 学生生活・仲間、支え合う存在

### 日体大に進学しようと思った理由と入ってからの感想を聞かせてください。

芦川　クラブのコーチが日体大出身だったこともあり、早くから進学先として決めていました。入学したら噂通りトレーニングは大変でしたが、それが今の体操に生かされていると思うところもあるので、本当に来てよかったと思います。

坂口　私は体操を続けながら大学生活を送ったほうが楽しいだろうと思い、続けるなら強い大学に入ろうと考えました。練習の厳しさは承知の上でしたが、挨拶などの礼儀正しさが際立っていると感じます。試合や遠征などで他大学と接する機会があると特に感じます。

芦川　荷物のこととかも。言われなくても先輩が持っていたら後輩が代わったり。

坂口　社会に出たらそれが普通だろうということを、部活の中で自然に身につけている感じです。

### 体操競技部以外のことで日体大に入学してよかったと思うことはありますか？

芦川　高校時代は部活に入っていない人も多く、放課後に遊んで帰る子が羨ましかったりしました。でもここに来たら運動部の学生が多いので、４限の授業が終わると一斉に練習に向かうので良い刺激になります。みんなが頑張っているから自分も頑張ろうと思えて。

坂口　クラスにいる違う部活の子と仲良くなり、それぞれの部活の面白いことなどを話し合えるのが楽しいです。寮の話とか！　ちなみにうちの寮には日直があったり、消灯が早かったりするのですが、そのおかげで規則正しい生活ができていると思います。

### お二人はお互いのことをどの様な存在だと感じていますか？

芦川　ワールドカップで出会い、結構いろいろな試合に一緒に遠征に行きました。大学に入る前から共に上を目指してきた仲というか。今は先輩としてですが、団体チームの中に彩夏さんがいるから安心できるという部分はすごくあります。

坂口　大学に入るまではずっと同い年としてやってきたし、その時から平均台のスペシャリストとして見てきたので、彼女が大学に入ってきた瞬間に「もう平均台は託したぞ！」って思いました。これでもう自分が平均台やらなくてもいい、ぐらい（笑）。頼みます！という気持ちで。

### 現在指導を受けている村上茉愛コーチはどのような存在でしょうか？

芦川　東京オリンピックのときに一緒に選手として出場し、そのときからお世話になっています。選手としても憧れていたので、大学に来てから村上コーチに教えてもらえていることがとても嬉しいです。自分が悩んでいる時にも一番声をかけやすい存在で、話しに行くと一緒になって考えてくれて、辛いときや悩んでいるときにすぐに寄り添ってくれることにいつも助けられています。

坂口　東京オリンピックが延期されたことで、大学一年生のときに開催となり、そのおかげで村上コーチと一緒に練習することができました。練習の仕方がとても上手で、疲れない効率の良い練習をする選手でした。やりたい技があるといつも補助をしてもらっています。また心理的な部分で助けられています。あまりうまくいっていないときには気づいて声をかけてくれます。試合中も「もっとこうしたらいいんじゃない」「気負いすぎだよ」とかいろいろ言ってくれて、すごく気が楽になりました。村上コーチはコーチではありますが距離が近く、自分が納得できるまで聞き直すなど密にやり取りができる存在です。

# これからの目標と夢、伝えたいメッセージ

## 競技における今後の課題についてそれぞれ教えてください。

芦川　今回試合に行ってみて、まだ平均台のDスコアが低いほうだったので、確実に取れる構成を考えていきたいと思います。なおかつEスコアもしっかり取っていくことが第一の課題でもあります。来年、パリオリンピックの代表を争うには平均台以上に床の強化もしていかないといけないので、Dスコアを確実に取らないと1種目だけでは勝負は難しいです。他にも平行棒と跳馬も点数が下がる部分なので、冬場の時期に来年に向けて一つ一つ取り組んでいきたいと思います。

坂口　来年はパリオリンピックがあるので、そこに向けてひたすらに練習を積み、選考会でしっかりと演技ができるようにしたいです。とくに点数が伸びにくい種目が段違い平行棒なので、そこでDスコアを上げようとしているところです。さらに練習を積み体力をつけ点数を取れるようにしたいのと、倒立姿勢ひとつでEスコアが全然変わってくるので、姿勢の見直しをして少しでも減点がない演技をしたいです。

## 現在の目標と将来の夢について聞かせてください。

芦川　体操選手として今一番の目標はパリですが、将来体操競技人生が終わっても体操には携わりたいです。自分が経験してきたように、海外の試合に出られる選手を育てたいという思いがあります。

坂口　来年は4年生で集大成の年なので、オリンピックはちょうどいいタイミングです。そこに確実に出場し、団体でメダルを勝ち取りに行きたいです。今は夢といってもパリオリンピックに出ることしか目指していないので、その先はまだ考えていませんが…。体操が好きなので、私もずっと体操には携わりたいと思っています。体操を知らない人やあまり得意でない人にも魅力を知ってもらい日本全国に体操を広めたい。今まで先生やコーチの指導を受けてきたおかげで体操って楽しいと思えたので、今度は自分がそれを小さい子たちにも伝えたいです。

## 共に練習する仲間や日体大の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

芦川　部活動に限らず、何かひとつでも興味があることを極めることは一つの選択肢です。自分の得意なものをつくるのは、人生においてとても良いことだと思うので。興味を持ったものに対して自分でどんどん研究し追求していくことは大切。その「何か」は見つけようとして見つかるのではなくて、普段の生活の中で「これいいな」と思ったことがあれば、それに関して極めればいいかと思います。

坂口　私、結構飽き性なんですけど、そういう人はどうしたらいいですか（笑）？

芦川　ダメだって思ったら執着せずに方向転換し、自分が興味を持てるものだけを探していけばいいのでは。いろんなものを取捨選択してよいと思います。

坂口　体操に関していえば、女子は年齢的に大学生がピークで男子は大学卒業してから伸びる選手が多いです。今自分たちがちょうどピークくらいなので、今しかできない体操だからこそ、今頑張る。全力を尽くして自分がどこまで伸びるかというのを試す時期だと思っています。それは体操に限りません。勉強も歳を重ねてからやるよりは、今やっておいたほうが絶対に役に立つだろうし、やる気にも満ち溢れているでしょうから。若いうちにできることは全力でやったほうがいい！

## 坂口 彩夏

体育学部３年
体操競技部

（さかぐち・あやか）【主な戦績】
2021年／全日本学生体操競技選手権大会団体・個人優勝
2022年／世界選手権　団体7位
2023年／全日本学生体操競技選手権大会団体・個人優勝
2023年／NHK杯体操6位

自分の性格をひとことで：負けず嫌い／ポジティブ
オフの過ごし方：温泉（岩盤浴）／ショッピング
試合前＆後のルーティン：お風呂に入る／挨拶を（体育館に）きちんとする
尊敬する選手と理由：バイルズ選手／並外れた脚力が魅力的だから
好きなことば：今しかできないことに全力を尽くす／どうせやるなら全力で思い切ってやる／辛い時やしんどい時こそ笑う！

# エッサッサ

## 月明かりに月に向かって咆える獅子

「エッサッサ」という呼称が体育研究発表実演会で定着するようになって半世紀以上が経ちました。日体大のシンボルである獅子（ライオン）が月明かりに月に向かって咆える様を表現したものとされ、「静の強さ」を強調したスタイルが特徴です。

### 魅力・見どころ

平井氏が回想するところによると、モチーフとされたのは当時アメリカから持ち込まれていた「ピストン・ロッジ・アームモーション走法」でした。この腕の振りに静と動、強と弱、速と遅の要素を取り入れ、掛け声を「エッサッサ」としました。

以降、学生寮を介してその時々の寮生たちが責任をもって先輩から後輩へ伝え続けられてきました。長い歳月の中で連綿と継承されてきたのです。時代は移り、少しずつアレンジが加えられ、学生寮に伝えられてきた和太鼓がリズムをとるようになり、「離合集散」の美を表現したより勇壮なものへと仕上げられていきました。月明かりに獅子が月に向かって咆哮する様子（さま）を表現したもの、との説明が加えられるに及んで、この静の強さを強調したスタイルは完成したといえます。『演じて見せるエッサッサの世界』は、このように醸成されてきました。

### 活動・展開

今秋は、11月15日に開催される令和5年度日本体育大学「第60回体育研究発表実演会」のほか11月5日の日体フェスティバルにおいて披露します。また、日体大OBがいる高校で「エッサッサ」を体育祭で実演している学校があります。そのほか、地方実演会における発表や大会優勝時などの祝賀会などで「エッサッサ」を実演しています。

### 誕生・歴史

日本体育大学の独特の応援スタイルとなった「エッサッサ」は大正10年代の本学の前身である体操学校でうねったスポーツの波が誘因となって誕生しました。当時、本学の前身である体操学校は、日本体育会が大相撲と密接な関係を結んできたこともあってか、全校を挙げて相撲の応援に国技館に駆けつけていました。その当時、東京農大には『大根踊り』が、商船大学には『錨をあげて』が独自の応援スタイルとして名を馳せていました。体操学校でも、そのような独特の応援スタイルを考案しようという気運が高まってきました。

これに応えたのが、当時体操学校の在学生であった、平井一氏でした。氏は大正15（1926）年の春休みに学生寮に留まり応援スタイルの考案に没頭。4月15日に完成させたと言います。このエッサッサが実演会を彩るのは第9回からと推測されていますが、登場した当時は「裸祭り」という名称でした。「エッサッサ」の固有名詞が実演会に定着するようになるのは昭和43（1968）年の第13回からでした。そして、それが同窓生たちによって全国に広がっています。現在は深沢寮において、寮委員長が中心に指導しながら、基準列となる最前列の上級生が責任を持って自分の列の後輩に指導しています。エッサッサは、その演技とともに深沢寮生、日体大生の誇りを継承するものです。

# 日体大生なら知っておきたい伝統・精神
## ～「エッサッサ」「集団行動」とは?～

## 例年以上の真剣さで美と寮生の誇りを表現する

学生寮 寮監長
スポーツ文化学部 武道教育学科
**古澤 伸晃** 准教授

現在、令和5年度「第60回体育研究発表実演会」に向けて訓練に取り組んでいます。訓練は、後学期の授業が始まる9月25日の月曜日、早朝6時00分（5時50分整列）から東京・世田谷キャンパスメインアリーナにて実施しています。

今年の寮生が違うところは「真剣さ」だと感じています。もちろん昨年も素晴らしい「エッサッサ」を披露してくれましたが、今年は初日の訓練から遅刻者無し、見学者がほぼいませんでした。

訓練で難しいところ及び大切にしたいところは「エッサッサ」の形を覚えることはもちろん大切ですが、何よりも「自分たちは深沢寮生である」という誇りを持てるかどうかです。つまり、「挨拶、返事、身だしなみ、行動、時間厳守等」他の日体生の模範となれているかです。「エッサッサ」を学ぶのではなく、「エッサッサ」をとおして何を学ぶのか。このことを考えてもらいたいと思いますし、寮生が模範となって行動できれば日体大全体が良くなると信じて指導しています。

今年の深沢寮生は一味違います。「エッサッサ」は寮生たちによって少しずつ変化してきましたが、例年にない力強さ、そして静と動、強と弱、速と遅のめりはり及び離合集散の美を堪能していただければと思います。

## 寮委員長の本気を見せて集団を統べる。深沢寮生の魂を見てほしい

深沢寮 寮委員長
スポーツ文化学部 武道教育学科4年
**関軒 楽生**
（石川県私立金沢高等学校出身）

日本体育大学といえば「エッサッサ」という印象が強く存在自体は認知していましたが、実際には観たことがなくどんなものかは知りませんでした。集団行動と同じく動作を完璧に揃え、見せるものというイメージがありましたが、実際には形ではなく一人ひとりが魂を込めて日本体育大学生としての誇りを持って行うことが求められます。

深沢寮生が行っているエッサッサは練習ではなく訓練によって作られています。深沢寮生はエッサッサ132年の伝統を受け継ぐ義務があり、毎朝6時から早朝訓練を行っています。エッサッサを行うにあたって心構えや姿勢がとても大切なので訓練の際は常に気を抜かず魂を込めています。

実演会に向けてのエッサッサ訓練ではモチベーションを維持するための士気の上げ方や声の掛け方、メリハリの付け方に気を使っています。指揮を執る者の姿を見て寮生が付いてくるかどうか変わってくる為、寮委員長としての立ち振る舞いを意識して背中を見せるようにしています。

伝統を引き継いできたエッサッサには一つ一つの動作に力強さや迫力があります。また一人ひとりのエッサッサに取り組む心構えや姿勢、顔つきでどれだけ魂を込めてやってきたかが分かるので注目してみてほしいと思います。

# 集団行動

## 日体大スピリットを凝縮したパフォーマンス

エッサッサと並ぶ体育研究発表実演会の人気種目である「集団行動」。50数名の学生による一糸乱れぬ動きが、観る人に感動を与えます。他者を思いやる気持ち、限界まで挑戦するたくましさ、日体大生らしさが表現される演技です。

### 魅力・見どころ

有名な演技は「交差」だと思います。歩行するブロックがぶつかることなくすり抜ける演技が全世界的に注目され今日の集団行動人気につながっていると思います。その中でも後ろ向きに歩いてもぶつからない演技は特に歓声の高い演技となっています。また見どころとして、それぞれの演技構成もさることながら、学生たちの表情や息遣い、靴音などライブでしか伝わらない繊細なところを感じていただきたいと思っています。

### 活動・展開

集団行動は、その卓越したパフォーマンスで、国内外の数々の大会・催しに華を添えてきました。一例を挙げると、「東京2020オリンピック開会式映像参加」「ソチ2014パラリンピック開会式指導」、また楽隊の祭典「BASEL TATTOO 2016参加」などの実績があります。学外からは「歩く芸術」として、YouTubeにて1,180万回再生されていたり、毎年地上波テレビ局の独占密着取材を受けるなど、全世界的に知られている演技となっています。昨年度はドイツのプロバレエ団「ballet of difference」のバレエダンサー達が本学の集団行動を学びにわざわざ3週間来日されました。

### 誕生・歴史

日本体育大学の集団行動は、1970（昭和45）年、第15回実演会でexhibitionとして初めて発表しました。観客の反響が大きく、翌71年の第16回から正式種目となり、多くの関心を集めてきました。

昭和40年代後半、大学の男子学生寮は800名余りの学生が生活していました。当時は決して恵まれた環境とは言えない狭い場所でも、全員が協力し、隅々まで清掃・整頓し、互いに時間を守ることで、さまざまな問題を緩和して生活していました。多感な大学時代に寝食を共にする中で、全国から親元を離れお預かりした多くの学生たちに、「何か共通意識を持たせ指導できないか？」と考案したのが集団行動だったのです。いわば集団行動は、こうした集団生活の中から必然的に生み出され日体大独自の進化をとげてきたと言えます。集団生活の基本とも言うべき「他人を思いやる気持ち」も寮生活で育まれ、日体大の学生寮は純粋で、将来、体育指導者を目指す若者たちが、自分を鍛える場となってきました。

また戦前の兵式体操や兵式教練のイメージを払拭する斬新な感覚で演じられたことも人気種目となった理由の一つでしょう。

# 日体大生なら知っておきたい伝統・精神
## ～「エッサッサ」「集団行動」とは?～

## 映像では伝わらない感動を横浜アリーナで

監督 日本体育大学
**大海 二朗**

本年度の活動は7月下旬から開始し、毎週月・水・金の19時から21時までの限られた時間の中で極限の集中力をもって練習に取り組んでまいりました。集団行動は学友会活動ではなく毎年希望者を募り、今年度は1年生から4年生の53名が参加しており、今年初めてチャレンジする学生から毎年参加している学生まで皆で切磋琢磨しながら日本体育大学の伝統を継承すべく取り組んでいます。

練習では毎回基本的な「歩く」練習を必ず行い、同じ歩幅、同じテンポ、スピード、手の振り角度、視線など細心の注意を払いながら、ご覧いただく皆様に「呼吸することさえ忘れる」そんな緊張感を持った「歩き」を目指して努力し続けています。また学生に主体性を持たせ、日夜研究を重ね、毎年新たな構成を作り上げており、その過程ではイメージ通りに進まないことも多く、その都度皆で問題を共有し、より喜んでいただける、そして驚いていただける高度な構成を目指しております。

学生たちは「昨年度の自分たちを越えていく」ことを目標として真摯に取り組んでおります。その学生たちの一挙手一投足、表情、息遣い、靴音など映像では伝わらない感動を是非横浜アリーナのライブで感じていただきたく思います。

## 集団行動は、全員が主役。「できる」と強い気持ちで演技に臨む。

体育学部健康学科4年
**伊澤 桜**
（埼玉県立春日部東高等学校出身）

「自分にはできない。」これが、集団行動に対して初めに抱いた感情でした。

２０２０年春、コロナ禍。晴れて日体大に入学したというのに、オンライン授業の日々、部活にも入れず、何もできない1年生を過ごしていました。そこで、何か日体大でしかできないことをしたいと思い、集団行動に参加しました。２０２１年、２０２２年と参加し、今年で3年目となります。

集団行動は、全員が主役です。控えはいません。自分さえ良ければいいという人が一人でもいれば演技は崩壊します。そして、決して失敗は許されません。繊細で究極のメンタルスポーツです。また、短く限られた練習期間で、1から演技構成を作り上げるという難しさもあります。一方、「歩く」だけで人を感動させることができます。そんな、誰にでもできることを誰にもできないほど極めていく過程が、自信へと繋がり、堂々たる歩きへと繋がり、日本体育大学の集団行動となります。

今年の演技構成は、安全教育の一環であるといった、集団行動の本質に迫っています。また、次々と動きが多様に変化していきます。よって、瞬き厳禁です。

「自分にだってできる。」強い気持ちで、今年も体育研究発表実演会に臨む覚悟です。

活躍する

# OB

明法中学・高等学校　教諭

**橋浦 雅裕 氏**

体育学部 体育学科 卒業（2010年度）

INTERVIEW

# 選手、学生コーチ、グラウンドマネージャーを通じて培った貴重な経験 今後も多くを学び、周囲の人たちに良い影響を与えていきたい

日体大には教員を目指す学生が多く進学してくる。現在、私立高校で教壇に立つ橋浦さんもその1人。橋浦さんは仙台の高校から日体大に進学し、硬式野球部に入部した。部活や授業の空き時間を活かし、仲間とコツコツ勉強を頑張り、教員採用試験にも無事に合格。しかし選手としての活躍は2年生で終わりを迎える。その後は、コーチやマネージャーとしてチームに貢献することに。そこで得られたものは、支える人の重要性や、裏方の人たちのやりがいだった。その経験は、生徒を教える立場になった今も、橋浦さんの大きな力になっている。

## 体育の教員を目指して日体大へ

最初は、地元の大学に進学しようと考えていました。しかし、当時野球部の監督（県立利府高校）に相談したところ、体育の教員を目指すなら、日体大の指定校推薦の枠があると勧められました。日体大は競技のレベルも授業のレベルも高い為、受験を決めました。部活動は、硬式野球部に入部しました。入寮希望でしたが、当時はスポーツ推薦の部員しか入寮できなかったので家事をしながら一人暮らしをしていました。家事全般ができるようになったので、それもいい経験だったと思います。

硬式野球部を四年間続けられたことは一番の思い出であり、大きな財産です。入学当初から部活動をやり抜く覚悟はありました。体育の教員を目指すのであれば、中途半端ではなく、真剣に日本一を目指している部に所属したいという思いでした。また、そこで揉まれた経験が、教員になった時に生徒への指導に活かせると思っていたからです。

学生時代の橋浦さん

硬式野球部では二年生まで選手としてプレーし、三年生で一軍学生コーチ、四年生で一軍グランドマネージャーを務めました。選手として三軍から一軍まで這い上がりましたが、日体大の硬式野球部はレベルが高く、チームに貢献するのは厳しいという感覚は途中からありました。そのようなタイミングで紅白戦中に左膝を負傷してしまいました。そこで監督から、選手としてではなく、チームを支える裏方として貢献して欲しいという有り難いお話をいただいたことがきっかけとなり裏方に回る決断をしました。

四年間で色々な役職を経験できたことはとても良かったと思います。教員になってみて感じることは、様々な場面で必ずしも全員が主役になれるわけではないということです。しかし、一人ひとりに重要な役割があると感じています。自分が経験したように、誰かを支える重要性や裏方で力を発揮するやりがいを伝えていきたいと思います。

## 空き時間を活用して小さな積み重ねを

二年生の四月に、当時のキャリア支援センターの方から教員を目指すためのプランを話していただく機会がありました。その時から教員採用試験に向けての勉強を始め、キャリア支援センターにも通うようになりました。

有効活用したのは、空き時間です。授業のない時間は大学の図書館に行き、採用試験の勉強をコツコツ行ったことがよかったと思います。練習が休みの日も、同じ志を持った野球部の同期と一緒に切磋琢磨しました。一日中勉強できない時は、少しの時間でもカフェや大学の図書館に行き勉強しました。また、遠征中のバスの中でも古城監督がハンドルを握る中、助手席で勉強していました。助手席での役割は果たせていませんでしたが、古城監督が理解してくれたことには感謝しかありません。練習時間も長く、休みは週に一日だったので勉強時間をどのように作り出すかを常に意識していました。

進路については自分が公立出身だったので最初は宮城県の公立を中心に考えていましたが、当時のキャリア支援センターの方から、私の経歴や性格を踏まえた上で私立にも可能性があるとアドバイスをいただき私立の学校も考えるようになりました。私の就職活動で最初に内定をいただいたのが現在の学校です。練習中に電話がかかってきて、採用の話をしていただいたことは今でも忘れません。

## 現状に満足せず学び続けたい

恥ずかしい話ですが入職したての頃は、大学で硬式野球部をやりきり、授業や採用試験の勉強も全力で取り組んだつもりになっていたので、自信満々でした。しかし、いざ仕事を始めてみると学生と社会人との意識や知識量の違いに痛感させられ、鼻をへし折られました。当初は口だけで行動が伴わず、様々なことへの配慮もできていなかったと思います。先生方や生徒から色々なことを学ぶことによって徐々に周りが見えてきて働き方、考え方が変化してきました。

現在では保健体育の担当の他、高校二年生の担任、部活動を指導しています。部活動では自分の専門ではない種目を指導している為、毎日が発見、学び、反省の連続です。特に部活動の生徒達は人数も少ない中で、意欲的に活動しています。その姿を見ると教員としてのやりがいを感じます。部員には感謝しかありません。これからも寄り添い見守るというスタンスを大切にしながら、生徒達の考えを尊重し、少しでも関わった生徒達が成長できるように取り組んでいきたいと思います。また、生徒からも学ぶことや刺激を受けることが多くあります。今後も現状に満足せず学ぶ姿勢を大切にしたいと思います。

## 常に挑戦する気持ちを忘れずに

高校生の方には、希望する大学へ入学する為に自分ができることを一生懸命取り組んで欲しいです。入学後は、そこで歩みを止めるのではなく、大学四年間で将来の為に何を学ぶかが大切だと感じています。私は大学四年間で中途半端に遊んだりせずに、メリハリをつけて最後まで駆け抜けて良かったという思いがあります。少し回り道もしたかもしれませんが、妥協せずに日体大で過ごした四年間だったからこそ今があると思っています。

失敗も全てが経験となります。失敗することを恐れることなく、挑戦する気持ちを忘れずに様々なことに取り組んで欲しいと思います。

活躍する

OG

日体幼稚園　教諭

**上野 美帆 氏**

児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科
幼児教育保育コース卒業（2020年度）

INTERVIEW

# 大学時代の苦労や喜び、経験や実習の中で育まれた幼稚園教諭への情熱

## 外遊びを通じて、子供たちの身体能力を伸ばしていきたい

幼い頃から保育者になりたかった上野さんは、オープンキャンパスに来たことが最終的な決め手となって日体大に進学する。在学中はタッチラグビーに打ち込みながら、体作りの知識を持つ、専門性の高い保育者になるべく勉強や実習に熱心に取り組んだ。辛い実習も、大きな怪我も、仲間に支えられて乗り越えた。大学での経験を通じ、流されやすい性格を克服、自分の意志を持って生きる強さを身に付けた上野さん。現在は幼稚園教諭として日体幼稚園で子どもたちに接し、外遊びの中で子どもたちの身体能力を高めるという目標を実践している。

## 高い専門性を持った保育者に

高校の部活動の顧問の先生やコーチが日体大出身で、私も体育委員をやるなどスポーツが好きだったので、日体大に興味を持ちました。それでコーチに大学を案内していただき、施設やトレーニングセンターを見学したり幼児教育で先輩たちの作品が飾ってあるのを見たりして、良い印象を持ったのがきっかけです。

もともと幼い頃から保育者になりたくて、ピアノも中学まで習っていました。さらに子どもの運動能力の低下が問題視されていた時代でもあり、体作りの知識に特化した保育者になろうと思ったのです。オープンキャンパスにも伺わせていただき、幼児教育の先生の模擬授業を受けたり、実際に先輩方からお話を聞いたりもしました。そこであらためて自分の夢に合っていることを実感し、最終的に日体大で高い専門性を持った保育者になろうと決めたのです。

高校では剣道をやっていましたが、日体大の剣道部のレベルが非常に高かったので、そこで活動するのは諦めました。代わりに参加したのが、勧誘していただいたタッチラグビーのサークルです。そこでの活動も思い出深いのですが、辛い実習を一緒に乗り越えた、幼児教育の仲間との出会いも忘れられません。

## 大いに悩んだ末に日体幼稚園へ

実習で一番大変だったのは、一日、先生の代わりをする責任実習です。子どもたちにどんな経験をしてほしいか、自分で考えて計画を立て、子どもたちを引っ張っていく実習です。授業では習えない実践的なことばかりで、責任もあるので、果たして上手くできるか心配でした。そこでは実習仲間と連絡を取り合って、辛いよね、でも子どもたちは可愛よねとか話したりして。現場でしか体験できないことを共有し、切磋琢磨できる仲間が近くにいたからこそ、乗り越えられたんだと思います。

実際に進路を決める時は、非常に悩みました。幼稚園と保育園と施設の三箇所で実習を行い、最初は保育士を目指していましたが、どれも良いなと思ってしまったんです。最後の実習が四年生の夏過ぎまであったのですが、そこまで本当に決められなくて。他の人が次々に就職が決まっていく中、取り残されつついろいろな所を見学させていただき、12月頃になって幼稚園にしようと決めました。

見学した保育園は運動会などの行事や制作も控えめな所が多かったのですが、私はそれらを頑張りたかったのが理由です。その中で日体幼稚園を選んだのは、見学させていただいた時に先生方がとても生き生きと保育されていたこと。また、体を動かしながら遊ぶという教育があって、自分もそこで学びがあると思ったのが決め手でした。

## 自分の意志を持って生きていく

まだ二年目ですが、壁にぶつかった時は部活動での経験が役に立っています。タッチラグビーでチームの方向性で大いに悩み、Aチーム・Bチームという競争がある中で、自分を強く持たなくてはいけない時があったからです。今の仕事でも、自分自身の意思を持って先輩方に伝えたり、挑戦が必要になったりする場面が多々あります。私は流されやすい性格ですが、自分の意志を持って協力はするけれど、安易に同調はしすぎないことを大学の時に学びました。

大学時代と言えば、タッチラグビーで膝の十字靭帯を切る怪我をしたことがあります。その時は自分としては真っ暗な状態でしたが、仲間に支えられ、手術ができることに感謝できるようにもなりました。厳しい環境の中でも、感謝の気持ちを忘れない。今でも、仕事をする中で小さなことでも感謝して、やりがいを感じることができています。そこには大学時代の経験が役に立っています。

また祖父からもらった「和而不同」という言葉も大事にしています。和して同ぜずという意味ですが、これも常に心にある言葉です。あまり人を頼るタイプではないので、全て一人で抱え込んで生きて行こうと思っていた時期もありました。でも、そこで気付いてくれる仲間がいて、無理に我慢しなくてもいいことを学びました。

今、担任を持って一年目ですが、子どもの成長を身近で感じられるのが良いところです。言葉の発達という見えやすいものから、友達を思いやるという目には見えない部分まで、伸ばして行ける教諭になりたいと思います。特に、外遊びの中で子どもたちの身体能力を高めて行きたいです。

## ぜひ、オープンキャンパスに！

日体大の先生方はとても身近で、どんな話でも聞いてくださったり、気付いてくださったりします。そこはすごく心強いところですし、話を聞くことは大学を知る一番の方法です。ぜひオープンキャンパスに来ていただいて、大学のいいところやそれ以外のところもしっかり見て頂きたいと思います。また自分は何をしたいのかを明確にして、今考えられることを考えてみてください。それが、夢に近づいたり大学を決めたりする時の糧になると思います。

# 日体勢がアジアの舞台で活躍

FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/ 成都）が 7 月 28 日～ 8 月 8 日まで開催され、体操（女子・跳馬）で坂口彩夏（体育学部 3 年）が 2 位、陸上（女子 5000 メートル）で山﨑りさ（体育学部 3 年）が 3 位に入賞するなど健闘した。
また、第 19 回アジア競技大会（2022/ 杭州）は 9 月 19 日～ 10 月 8 日まで開催され、日体大関係者は選手 74 名、本部役員・監督・コーチ 8 名が出場した。
（日体大調べ）

*The 19th Asian Games*

## 第19 回アジア競技大会
### （2022/ 杭州）

アジア競技大会は、アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催（第 9 回大会まではアジア競技連盟主催）するアジア地域を対象にした国際総合競技大会。原則 4 年ごとに開催される。今大会は中国・杭州で開催され、40 競技 481 種目（2023 年 8 月 14 日発表）が行われた。

◆第 19 回アジア競技大会（2022/ 杭州） TEAM JAPAN 選手団 日体大関係者 成績

| 競技 | 選手名 | 学年 | 出場予定種目／ポジション等 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 陸上競技 | 池田 耀平 | 既卒 | 男子マラソン | 6 位 |
| | 大玉 華鈴 | 既卒 | 女子七種競技 | 6 位 |
| 水泳 / 競泳 | 森山 幸美 | 既卒 | 女子 1500m 自由形 | 3 位 |
| | 五十嵐 千尋 | 既卒 | 女子 50m 自由形 / 女子 4 × 100m リレー（入賞種目） | 2 位 |
| 水泳 / 飛込 | 荒木 宥図 | 4 年 | 男子 3m 飛板飛込、男子 3m シンクロナイズド（入賞種目） | 4 位 |
| | 三上 紗也可 | 4 年 | 女子 3m 飛板飛込 | 3 位 |
| 水泳 / マラソンスイミング | 南出 大伸 | 既卒 | 男子 10km | 4 位 |
| | 蝦名 愛梨 | 4 年 | 女子 10km | 2 位 |
| 水泳 / 水球（男子） | 足立 聖弥 | 既卒 | FP | 1 位 |
| | 渡邉 太陽 | 4 年 | FP | 1 位 |
| | 荻原 大地 | 3 年 | FP | 1 位 |
| | 伊達 清武 | 既卒 | FP | 1 位 |
| | 鈴木 透生 | 3 年 | FP | 1 位 |
| | 髙田 充 | 大学院 | FP | 1 位 |
| | 荒井 陸 | 既卒 | FP | 1 位 |
| | 大川 慶悟 | 既卒 | FP | 1 位 |
| | 荒木 健太 | 既卒 | FP | 1 位 |
| | 西村 永遠 | 大学院 | GK | 1 位 |
| 水泳 / 水球（女子） | 河口 華子 | 既卒 | FP | 2 位 |
| | 西山 風花 | 大学院 1 年 | FP | 2 位 |
| | 設樂 ひかる | 既卒 | FP | 2 位 |
| | 有馬 優美 | 大学院 1 年 | FP | 2 位 |
| ボクシング | 木下 鈴花 | 既卒 | 女子 54kg 級 | 5 位 |
| | 吉澤 颯希 | 4 年 | 女子 57kg 級 | 5 位 |
| バレーボール（男子） | 高梨 健太 | 4 年 | アウトサイドヒッター | 3 位 |
| バレーボール（女子） | 目黒 優佳 | 既卒 | リベロ | 2 位 |
| 体操（女子） | 牛奥 小羽 | 1 年 | 女子団体総合 | 2 位 |
| トランポリン | 佐竹 玲奈 | 既卒 | 女子個人 | 5 位 |
| レスリング | 長谷川 敬裕 | 既卒 | 男子フリースタイル 57kg 級 | 1 位 |
| | 山口 海輝 | 既卒 | 男子フリースタイル 65kg 級 | 3 位 |
| | 鈴木 絢大 | 既卒 | 男子グレコローマン 60kg 級 | 2 位 |
| | 遠藤 功章 | 既卒 | 男子グレコローマン 67kg 級 | 1 位 |
| | 藤波 朱理 | 2 年 | 女子フリースタイル 53kg 級 | 1 位 |
| ハンドボール（男子） | 元木 博紀 | 既卒 | CP | 4 位 |
| | 河原 脩斗 | 既卒 | CP | 4 位 |
| 自転車 /BMX | 中井 飛馬 | 4 年 | 男子クロスレースレーシング | 1 位 |
| ソフトテニス | 尾上 胡桃 | 大学院 | 女子シングルス、女子団体（入賞種目） | 1 位 |
| | 久保 晴華 | 既卒 | 女子団体 | 1 位 |
| フェンシング | 東 晟良 | 既卒 | 女子フルーレ個人、女子フルーレ団体 | 個人 6 位 / 団体 3 位 |
| | 佐藤 希望 | 既卒 | 女子エペ個人、女子エペ団体（入賞種目） | 団体 3 位 |
| 柔道 | 大吉 賢 | 既卒 | 混合団体 | 1 位 |
| バドミントン | 山下 恭平 | 既卒 | 混合ダブルス、男子団体（入賞種目） | 男子団体 3 位 |
| 近代五種 | 梅村 華苗 | 既卒 | 女子個人、女子団体 | 個人 6 位 / 団体 2 位 |
| ラグビーフットボール（男子） | 石田 大河 | 既卒 | BK | 3 位 |
| ラグビーフットボール（女子） | 大竹 風美子 | 既卒 | FW | 2 位 |
| | 平野 優芽 | 既卒 | BK | 2 位 |
| | 松田 凜日 | 4 年 | BK/FW | 2 位 |
| | 堤 ほの花 | 既卒 | BK | 2 位 |
| | 田中 笑伊 | 既卒 | BK | 2 位 |
| カヌー／スプリント | 井上 暉央 | 既卒 | 男子カヤックフォア 500m | 3 位 |
| アーチェリー | 斉藤 史弥 | 1 年 | 男子リカーブ個人、男子リカーブ団体、混合リカーブ団体（入賞種目） | 混合リカーブ団体 2 位 |
| 野球 | 猪原 隆雅 | 既卒 | 外野手 | 3 位 |
| 武術太極拳 | 齋藤 志保 | 既卒 | 女子太極拳・太極剣 | 5 位 |
| トライアスロン | 小田倉 真 | 既卒 | 男子個人、混合リレー | 男子個人 2 位 / 混合リレー 1 位 |
| | 北條 巧 | 既卒 | 混合リレー | 1 位 |
| セパタクロー | 内藤 利貴 | 既卒 | 男子 Quadrant（入賞種目）、男子チームレグ | 男子 Quadrant3 位 |
| | 奈良輪 航 | 既卒 | 男子 Quadrant、男子チームレグ | 男子 Quadrant3 位 |

（日体大調べ）

*FISU WORLD UNIVERSITY GAMES SUMMER*

## FISU ワールドユニバーシティ ゲームズ
### （2021/ 成都）

2021 年に開催予定だった第 31 回夏季ユニバーシアードが、新型コロナウイルス、ウクライナ情勢などの影響により 2023 年に再延期されて実施された。FISU ワールドユニバーシティゲームズは、国際大学スポーツ連盟（FISU）が主催する学生を対象にした国際総合競技大会で、2 年ごとに開催されるもの。「ユニバーシアード競技大会」として開催されてきたが、中国・成都で開催の 2021 年夏季大会から「FISU ワールドユニバーシティゲームズ」となり、今大会では 15 競技 267 種目が行われた。

◆ FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/ 成都） TEAM JAPAN 選手団 日体大関係者

| 競技 | 選手名 | 学年 | 出場予定種目 ポジション等 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 陸上競技 | 柄澤 智哉 | 3 年 | 男子棒高跳 | 4 位 |
| | 山﨑 りさ | 3 年 | 女子 5000m、女子 10000m | 女子 5000m3 位 / 女子 10000m5 位 |
| 水泳／競泳 | 寺田 拓未 | 既卒 | 男子 50m バタフライ、男子 100m バタフライ、男子 200m バタフライ（入賞種目）、男子 4 × 100m メドレーリレー（入賞種目） | 男子 200m バタフライ 1 位、男子 4 × 100m メドレーリレー 3 位 |
| | 蝦名 愛梨 | 4 年 | 女子 800m 自由形、女子 1500m 自由形（入賞種目） | 女子 1500m 自由形 5 位 |
| 水泳／水球（男子） | 畑 翔太郎 | 4 年 | FP | 8 位 |
| | 山田 凪航 | 4 年 | FP | 8 位 |
| | 田村 瑞希 | 4 年 | FP | 8 位 |
| | 岡 湧士 | 3 年 | FP | 8 位 |
| | 村岡 伯虎 | 3 年 | FP | 8 位 |
| 水泳／水球（女子） | 須賀 颯那 | 3 年 | FP | 4 位 |
| | 鰌川 百音 | 3 年 | FP | 4 位 |
| | 西山 百花 | 2 年 | FP | 4 位 |
| バレーボール（女子） | 石倉 沙姫 | 4 年 | アウトサイドヒッター（OH） | 2 位 |
| 体操競技（男子） | 杉本 海誉斗 | 既卒 | 男子団体総合、男子平行棒、男子鉄棒 | 男子団体総合 2 位 / 男子平行棒 2 位 / 男子鉄棒 3 位 |
| 体操競技（女子） | 牛奥 小羽 | 1 年 | 女子団体総合 | 2 位 |
| | 坂口 彩夏 | 3 年 | 女子団体総合、女子ゆか、女子跳馬、女子個人総合、女子平均台 | 女子団体総合 / 女子ゆか / 女子跳馬 2 位 女子個人総合 / 女子平均台 3 位 |
| バスケットボール（女子） | 安江 沙碧梨 | 既卒 | ガード（G） | 2 位 |
| 柔道 | グリーン カラニ海斗 | 4 年 | 男子 100kg 級、男子団体戦 | 男子 100kg 級 2 位 / 男子団体戦 1 位 |
| | 石原 樹 | 4 年 | 男子 73kg 級、男子団体戦 | 男子 73kg 級 / 男子団体戦 1 位 |
| | 新井 万央 | 2 年 | 女子 78kg 超級、女子団体戦（入賞種目） | 女子団体戦 1 位 |
| バドミントン | 野田 統馬 | 4 年 | 男子シングルス（入賞種目）、男子ダブルス、混合団体（入賞種目） | 男子シングルス 3 位 / 混合団体 5 位 |
| アーチェリー | 河田 悠希 | 既卒 | 男子リカーブ個人（入賞種目）、男子リカーブ団体、リカーブ混合団体 | 男子リカーブ個人 2 位 |
| アーチェリー | 青島 鉄也 | 4 年 | 男子リカーブ個人、男子リカーブ団体、リカーブ混合団体（入賞種目） | リカーブ混合団体 1 位 |

（日体大調べ）

# 違法薬物の乱用防止および交通ルールの啓発について

本学では、日頃より違法薬物の乱用防止に関すること、自転車の交通ルールに関することを啓発しております。
今回は、後学期の授業開始に先立ち、学友会団体幹部学生の延べ289名に、「これから実践できること」を自分たちで考える場を設けました。

## 【これから実践できること】

### ＜交通ルールについて＞

○左側通行、止まれで止まること当たり前のことを当たり前にやる。
○イヤホンを付けての運転や傘をさしながらの運転を徹底的にやめさせる。
○自転車の点検を定期的に行い、通学路中の危険はどこにあるのかを再確認する。
○ヘルメットは努力義務、歩道は徐行、夜ライトつける。
○鍵を必ずかけること、周りに注意しながら危険な乗り方をしないように呼びかける。
○事故を起こさないように交通ルールを理解しておくことと、時間に余裕を持って行動する。

### ＜違法薬物について＞

○部員に薬物の危険性や怖さを今一度理解させる。
○全員が部活や大学に所属していて、自分一人だけの責任では無いことを自覚させるよう促す。
○寮則や校則を守り、犯罪に巻き込まれないようにする。
○入部時や部則説明時などの際に注意喚起をする、何かあった場合に相談できるような体制、環境をつくる。
○違法薬物に対するプラスなイメージをなくす。人生がどうにもならなくなるなどのデメリットの方が大きい。
○定期的にミーティングを行い、違法薬物に対する正しい知識の確認を行う。

## 日体大生としてふさわしい行動を！

1．法令・規範遵守や事故防止等につとめる。
2．いかなる暴力行為も行わず、また黙認を行わない。
3．飲酒に関わる不適切行為の防止。特に飲酒の強要や未成年者の飲酒等の行為は、絶対に行わない・行わせない。
4．ソーシャルメディア(SNS)での軽率な発言(悪口、個人情報、守秘義務、犯罪などの告白など)をネット上に投稿し、自分やチームの努力を台無しにしない。
5．部内での違反・犯罪行為、事故が発生・発覚した場合、すぐに相談・報告を行う。

# シャトルバスが有料になりました

2023年度後学期(9月21日)よりシャトルバスは有料化されました。
(片道350円)
ご理解のほどよろしくお願い致します。
乗車には、学生証と乗車券が必要です。
乗車券は、乗車キャンパスに設置の券売機で購入できます。
乗車券の購入は、電子マネー(QUICPay、Edy、WAON、nanaco、交通系IC(Suica、PASMO)のみとなります(現金での購入は不可)。

**【券売機設置場所】**
**東京・世田谷キャンパス：スポーツ棟1階広報スペース横**
**横浜・健志台キャンパス：百年記念館東棟1階オリンピアードテラス内**

## 令和5年度　日本体育大学「第60回体育研究発表実演会」

「第 60 回体育研究発表実演会」を以下のとおり開催いたします。学生たちの躍動を、あの感動を是非会場で体感してください。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

### 1．テーマ
Power of Sports

### 2．開催日時
2023 年 11 月 15 日（水）　開場 16:30
開演 18:30　終演 20:00 予定

### 3．会場
【横浜アリーナ】
〒 222-0033　横浜市港北区新横浜 3 丁目 10 番地

【最寄り駅】
JR・横浜市営地下鉄ブルーライン　新横浜駅

### 4．プログラム（五十音順表記）
アルティメット／エッサッサ／剣道／集団行動／少林寺拳法／新体操／ソングリーディング／体操／チアリーダー／ハンドボール
ゲスト出演　朝鮮大学校
※プログラムについては、今後予告なく変更する場合もございます。予めご了承ください。

**＜問い合わせ先＞**
**日本体育大学　横浜・健志台キャンパス**
**学生支援センター**
**TEL　045-963-7905（平日：8:30 ～ 17:00）**

## 日本体育大学クリニックのご案内

2018年12月に開院した日本体育大学クリニックでは、スポーツ選手の怪我の治療、予防・アドバイスはもちろん、本学学生・関係者をはじめ、地域住民の方々も対象に、スポーツに起因しない怪我や病気の診断・治療も行っています。

【所在地】　〒 158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1
日本体育大学東京・世田谷キャンパス教育研究棟G階
TEL：03-5706-0929　FAX：03-5706-0938

### 日本体育大学クリニック

■診療時間・診療科

| 受付開始　14：30 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日祝日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15：00 ～ 18：00 | 整形外科（一般・スポーツ整形外科） | ○ | | ○ | 第1週 第3週 第5週 | ○ | 休診 |
| | 外科（一般外科） | | | ○ | | | |
| | 内科（一般・呼吸器内科・スポーツ内科） | | ○ | | | | |
| | 専門外来（PRP・動注療法） | | | | 第2週 第4週 | | |

■診察スタッフ
院長　横田　裕行
医師　平沼　憲治（整形外科・外科）
　　橋本　俊彦（整形外科）
　　清水　勇樹（整形外科・専門外来）
　　橋本　典生（内科）
　　川上　康彦（内科）

※上記休業日の他、以下の休業あり
1．夏季休業（８月中に１週間）
2．開学記念日（９/２０）
3．冬季休業（１２/２８～１/５）
4．その他本学の諸行事等に伴う臨時休業